

2024年の米国 VC 投資の概況

本稿では、Venture Monitor Q4 2024 のデータに基づき、2024年（1～12月）の米国 VC 投資動向を概観する。

【総括】

2022年から続く Exit の停滞が主因で、ここ3年間、米国 VC 投資は低調で、金額・件数ともに既往ピークを記録した2021年には遠く及ばない。但し、2024年の投資金額は2023年比で30%近く増加した。

Venture Monitor は、米政権の交代が米国 VC マーケットに与える影響については、若干の不確実性が存在するものの、2025年に向けて楽観的な見方が広がっている、とみている。

1. VC 投資動向の概観

（1）2024年の VC 投資金額・投資件数

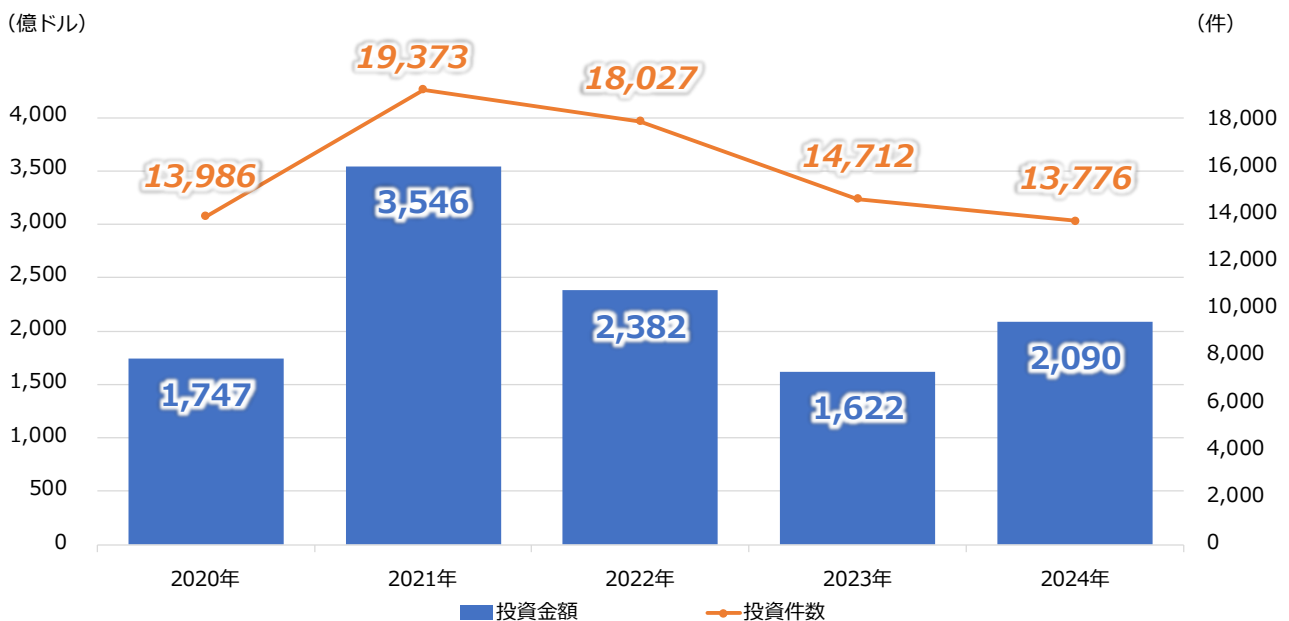
① 2024年の VC 投資は、前年比で金額は増加、件数は減少

過去5年間の米国 VC 投資の推移を図表1に示す。

2024年の VC 投資金額は2,090億ドルと、前年の1,622億ドルから468億ドルの増（+28.9%）で、2021年の3,546億ドル、2022年の2,382億ドルに次いで既往第3位の実績を記録した。

一方、2024年の投資件数は13,776件と、前年の14,712件から936件の減（△6.4%）で、既往ピークの2021年（19,373件）から3年連続で減少を続けている。

図表1 年間 VC 投資推移（2020年～2024年）



（出所：Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成）

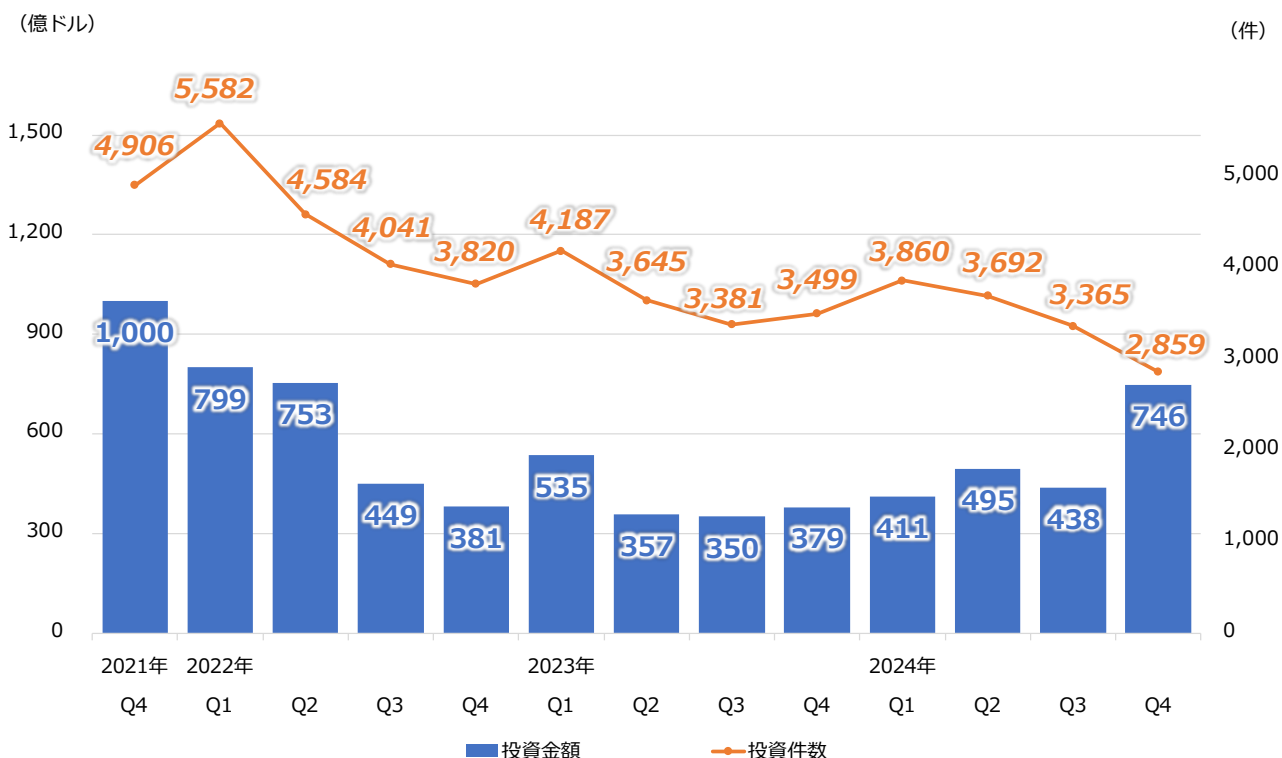
② 四半期推移：2024年Q4は、投資金額が大幅に伸びたが、件数は減少

2021年Q4以降の四半期ごとのVC投資金額の推移をみると、2024年Q4は大きな伸びを示している。

図表2をみると、2021年Q4に既往ピークの1,000億ドルを記録した後、翌2022年Q1から減少傾向に転じ、2022年Q3以降2024年Q3までの間は、四半期ベースで350億ドルから535億ドルの範囲で推移していた。2024年Q4は746億ドルと、2022年Q3以降10四半期ぶりに700億ドル台を回復している。

一方、四半期別投資件数については、投資金額の推移とは異なり、2024年Q4は2,859件と、既往ピークの2022年Q1(5,582件)以降、減少傾向が続いており、前四半期の3,365件との比較でも506件の減(△15.0%)となっている。

図表2 四半期別VC投資推移(2021年Q4~2024年Q4)



(出所：Venture Monitor Q4 2024、VEC作成)

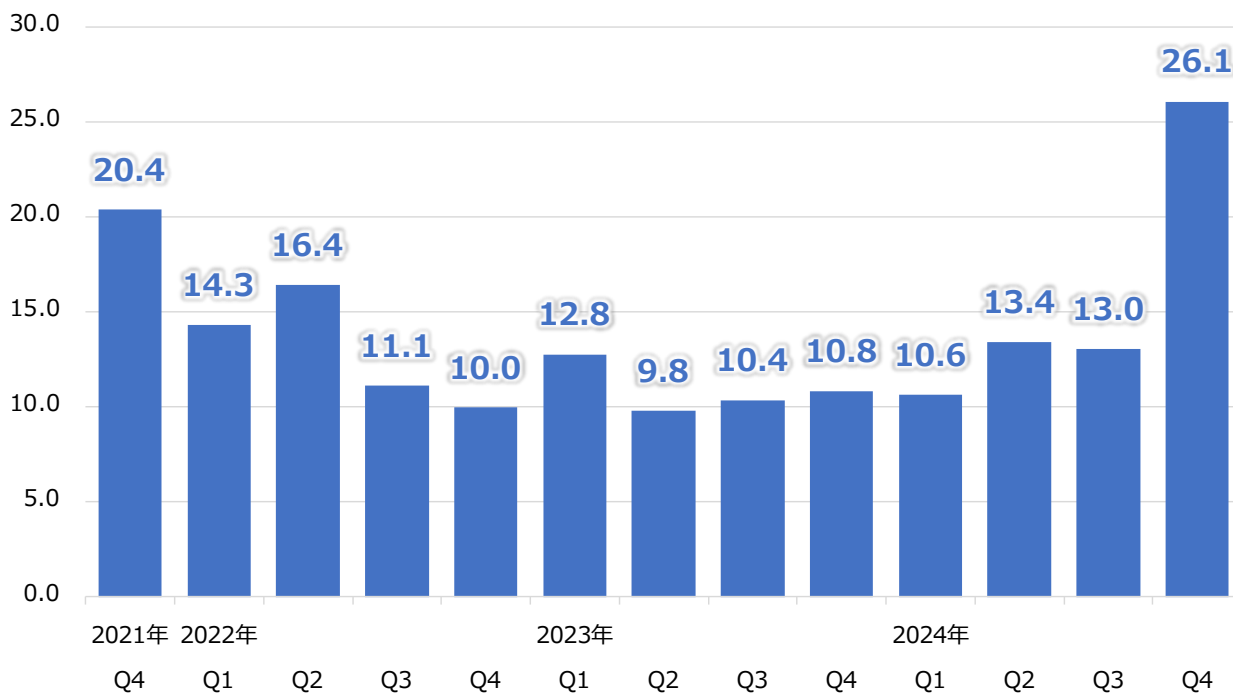
図表 2 のデータから算出した四半期ごとの平均投資金額を図表 3 に示す。

2024 年 Q4 の VC 平均投資金額は 26.1 百万ドルで、2021 年 Q4 の 20.4 百万ドルを上回り既往ピークを更新した。

Venture Monitor によれば、大型案件の増加が 2024 年の VC 投資を支えた主たる原動力であり、特に図表 2 の 2024 年 Q4 の VC 投資金額 746 億ドルの 43.2% に相当する 322 億ドルが AI 関連のベンチャー企業 5 社 (Databricks、OpenAI、xAI、Waymo、Anthropic) 向けの大型投資だったとしている。

図表 3 四半期別 VC 投資の平均投資金額推移 (2021 年 Q4~2024 年 Q4)

(百万ドル)



(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

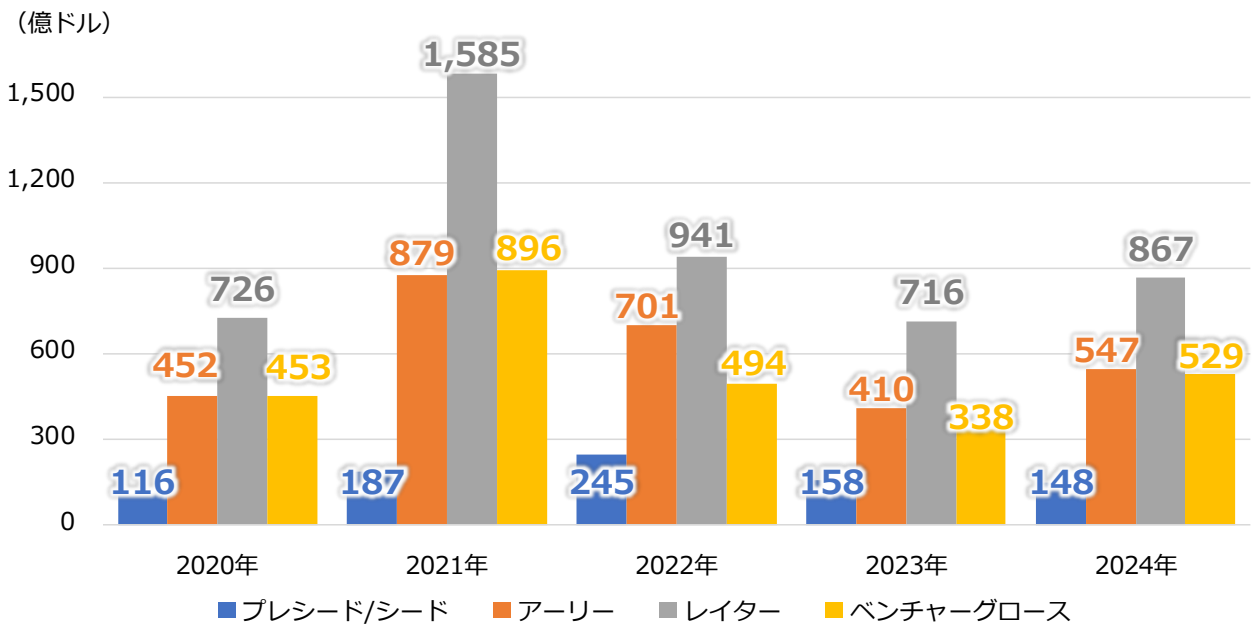
(2) 2024年のステージ別 VC 投資動向

図表 4 に過去 5 年間のステージ別投資金額の推移を示す。

2024 年の「アーリー」「レイター」「ベンチャーグロース」のステージ別投資金額は、いずれも 2023 年実績から増加している。2024 年の「アーリー」は 547 億ドルで前年の 410 億ドルから 137 億ドルの増 (+33.4%)、「レイター」の 867 億ドルは前年の 716 億ドルから 151 億ドルの増 (+21.1%)、「ベンチャーグロース」の 529 億ドルは前年の 338 億ドルから 191 億ドルの増 (+56.5%) と、いずれも大きな伸びを示している。

一方、「プレシード/シード」のみ、前年の 158 億ドルから 2024 年は 148 億ドルと 10 億ドルの減 (Δ 6.3%) となっている。

図表 4 ステージ別 VC 投資金額推移 (2020 年~2024 年)



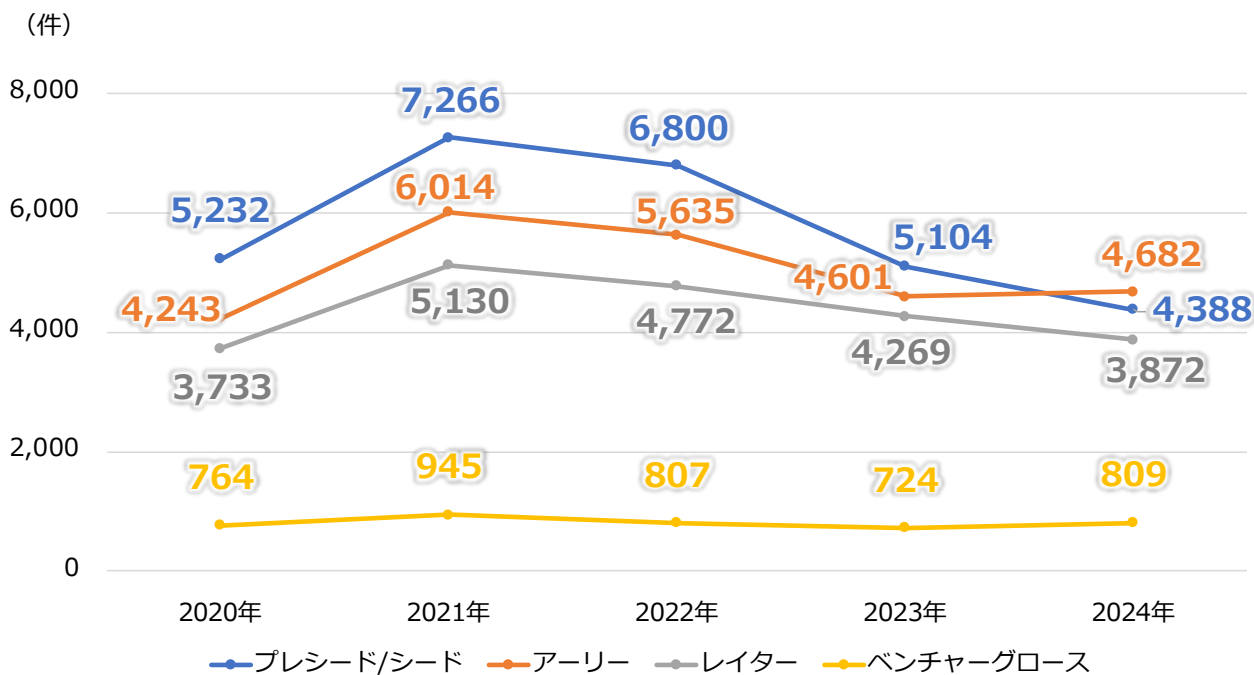
(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

図表 5 は、過去 5 年間のステージ別投資件数の推移を示したものである。

2024 年のステージ別投資件数を 2023 年と対比してみると、「アーリー」は 4,682 件と、前年の 4,601 件から 81 件の増 (+1.8%) で、「プレシード/シード」を抜いて 4 ステージのなかで最大の投資件数を記録した。「ベンチャーグロース」も 809 件と前年の 724 件から 85 件の増 (+11.7%) となっている。

一方、「プレシード/シード」は前年の 5,104 件から 2024 年の 4,388 件と 716 件の減 ($\Delta 14.0\%$)、「レイター」は前年の 4,269 件から 3,872 件へ 397 件の減 ($\Delta 9.3\%$) と、減少している。

図表 5 ステージ別 VC 投資件数推移 (2020 年~2024 年)



(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

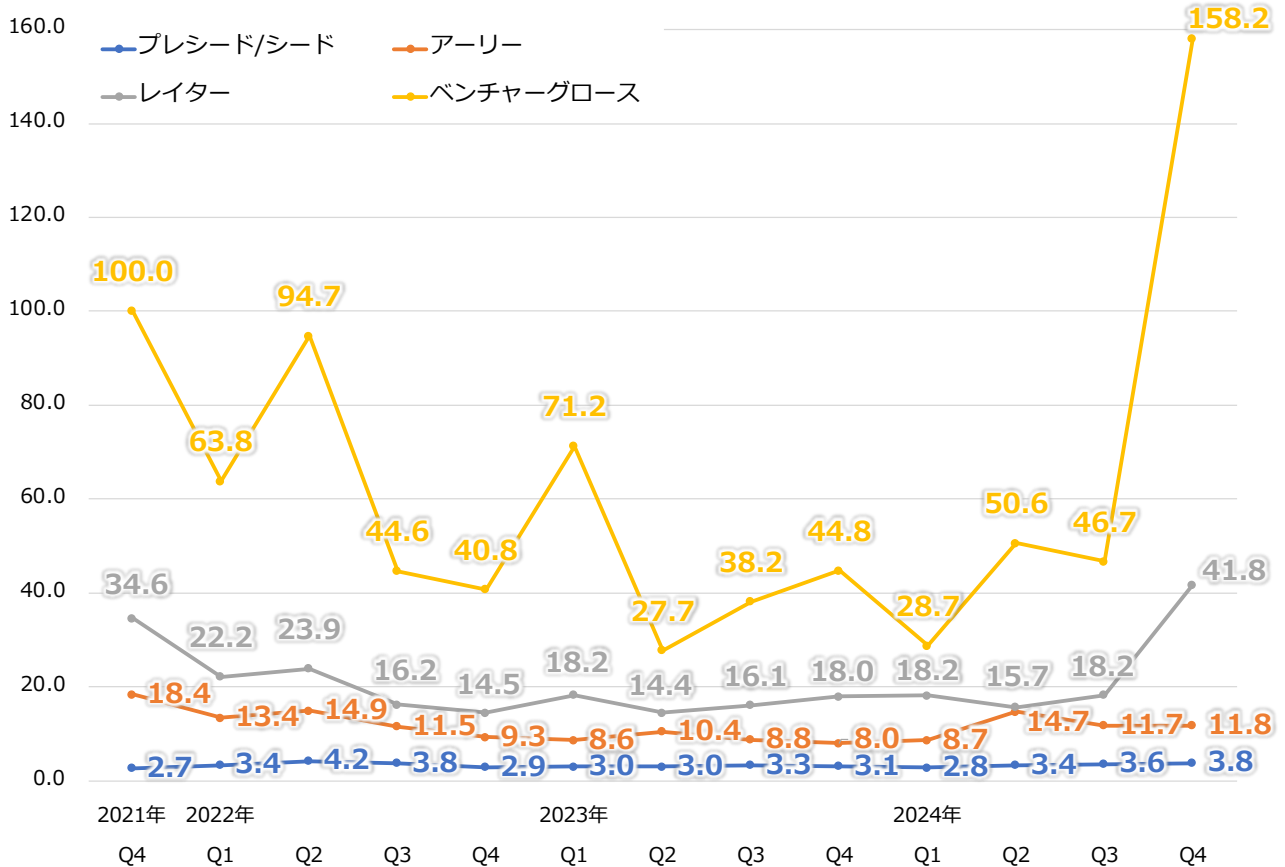
(注) 各年の全ステージの投資件数の合計は、図表 1 の投資件数とは一致しない

Venture Monitor のデータから算出したステージ別平均投資金額の四半期推移を図表 6 に示す。

2024 年 Q4 で、「ベンチャーグロス」と「レイター」の平均投資金額が大きく伸びていることが特徴的である。なかでも、「ベンチャーグロス」の伸びが極めて大きくなっている。これは、米国 VC 投資総額に関する先の図表 3 の説明のなかでの「2024 年 Q4 の VC 平均投資金額は 26.1 百万ドルで、2021 年 Q4 の 20.4 百万ドルを上回り、既往ピークを更新した。」との記載と符合する。

図表 6 ステージ別平均投資金額の四半期推移（2021 年 Q4～2024 年 Q4）

(百万ドル)



(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

2. VC ファンド組成動向

図表 7 に示すとおり、2024 年の VC ファンド組成金額は 761 億ドルと、2022 年の既往ピーク 1,885 億ドルの 40.4%にとどまり、前年の組成金額 975 億ドルからも 214 億ドルの減 ($\Delta 21.9\%$) と、2 年連続で減少が続いている。

ファンド組成本数も、2024 年はわずか 508 本にとどまっており、Venture Monitor のデータによれば、2015 年以降の 10 年間で最少の組成本数である。

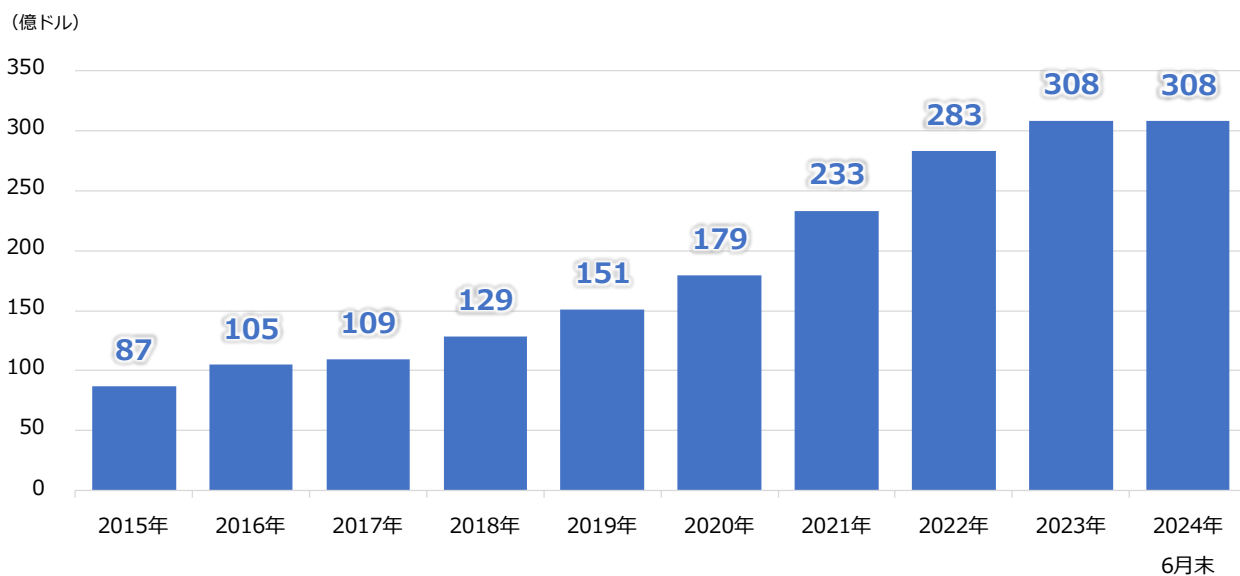
図表 7 ファンド組成推移 (2020 年~2024 年)



(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

ファンド組成が低迷し、かつ、後述のようにリターンを生み出す大規模な Exit が少なかったにもかかわらず、冒頭に記載した 2024 年の VC 投資総額が 2023 年比増加した背景には、ドライパウダーの水準が依然として高かったことが挙げられる (図表 8)。

図表 8 過去 10 年間の累積ドライパウダーの推移



(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

(注) 2015 年~2023 年は 12 月末、2024 年のみ 6 月末

3. VC 出資先企業の Exit 動向

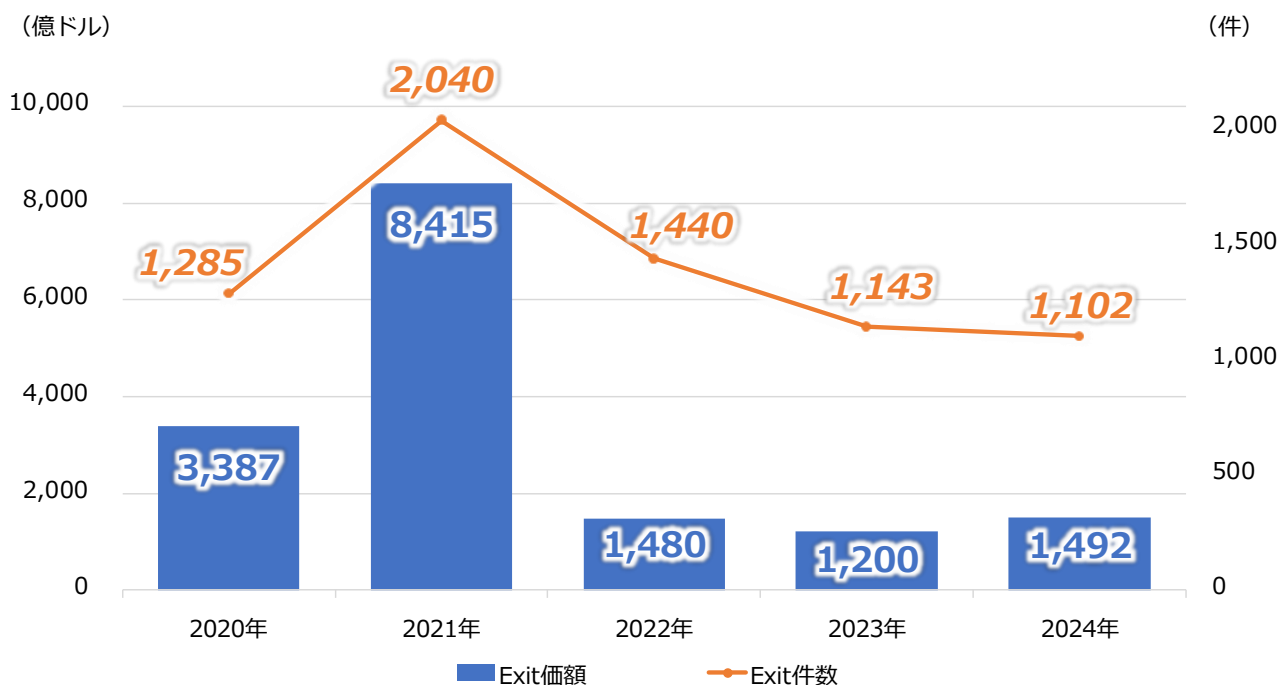
VC 出資先企業の直近 5 年間の Exit の推移を図表 9 に示す。

2024 年の Exit 価額^(注)は 1,492 億ドルと、前年の 1,200 億ドルから 292 億ドルの増 (+24.3%) となっている。この要因を、Venture Monitor は、大型 Exit 案件が増加したからだとみており、10 億ドル超の Exit 案件が、2023 年は 16 件で 460 億ドルだったものが、2024 年には 21 件で 623 億ドルに増加したことが、その一因だとしている。

(注) Exit 価額は、VC 出資先の Exit 案件について、①株式公開時 (IPO、直接上場、SPAC 経由のリバースマージャーを含む) のプレミアムバリュエーション額 (株式公開前の段階での企業価値)、および、②買収金額が開示された M&A 金額の合計

なお、2024 年の Exit 件数は 1,102 件で、前年の 1,143 件から微減の状態である。

図表 9 Exit の推移 (2020 年~2024 年)



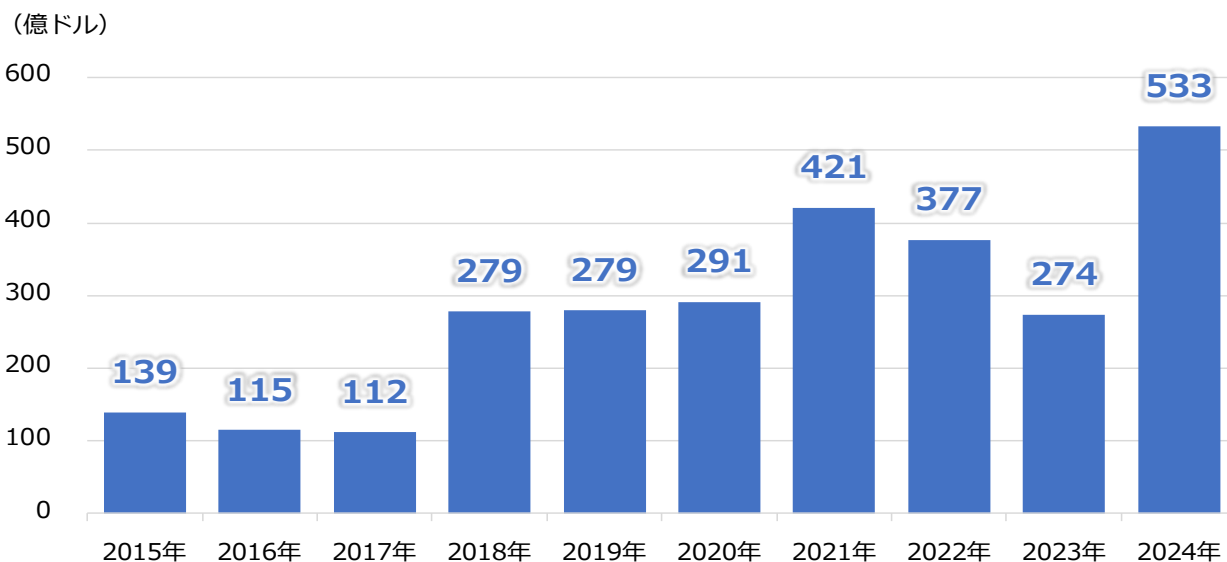
(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

4. VC 出資先企業のデット調達金額の推移

2015 年以降の VC 出資先企業の債券発行や借入によるデット調達金額の推移を、図表 10 に示す。

ファンド組成とエグジットが低迷しているなか、利下げによる借入コストの低下ともあいまって、VC 出資先企業の 2024 年のデット調達金額は 533 億ドルと、既往ピークを記録した。

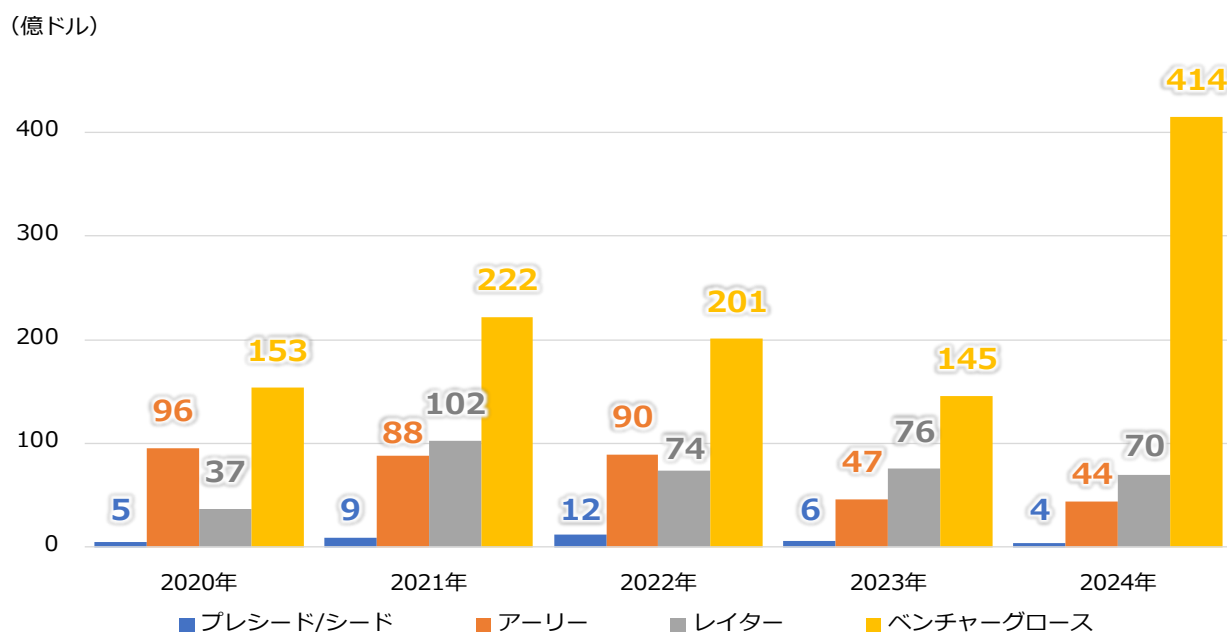
図表 10 VC 出資先企業のデット調達金額の推移（2015 年～2024 年）



(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

VC 出資先企業のデット調達金額について、直近 5 年間のステージ別推移をみると、図表 11 に示すとおり、2024 年に、「ベンチャーグロス」ステージにある企業によるデット調達金額が大幅に増加していることがわかる。

図表 11 ステージ別 VC 出資先企業のデット調達金額の推移（2020 年～2024 年）

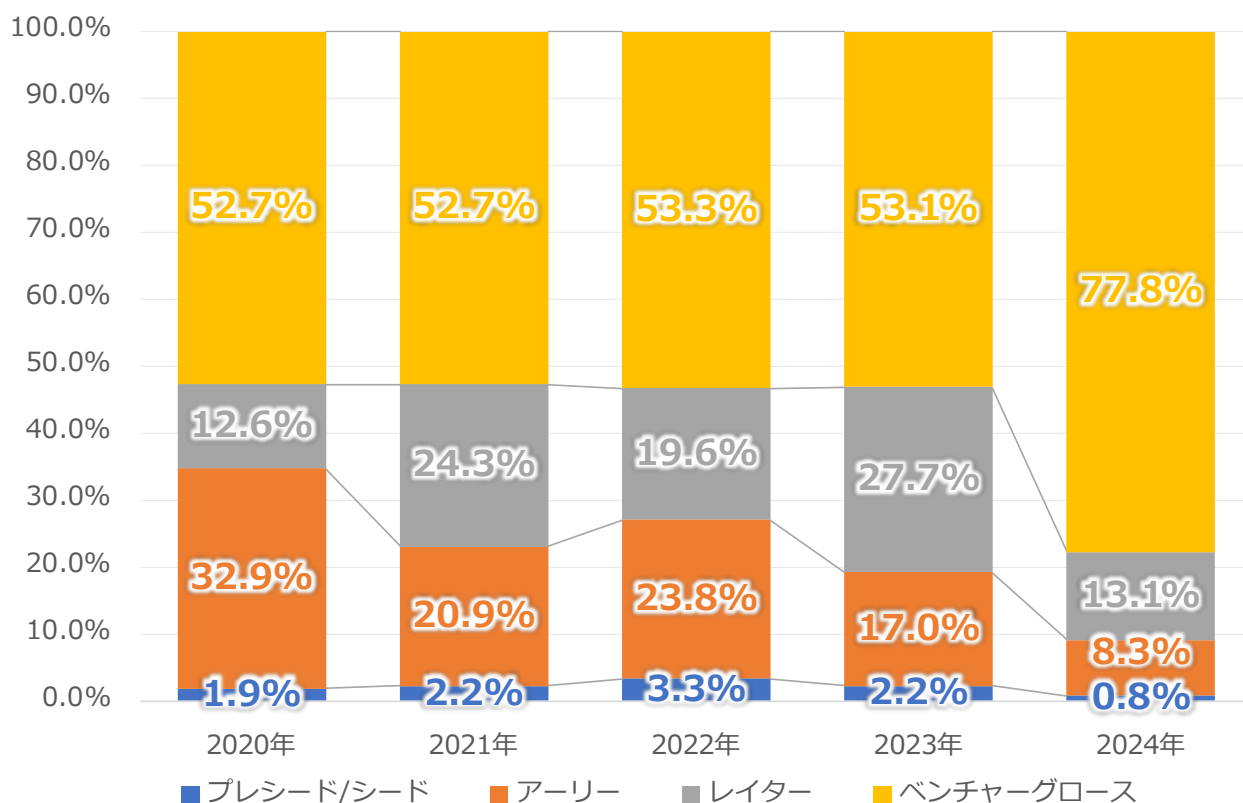


(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

VC 出資先企業のステージ別デット調達比率の推移をみると、図表 12 に示すとおり、前年まで 50% 台前半で推移していた「ベンチャーグロース」が、2024 年に 77.8% へと急増している。

ベンチャーデットのうち融資については、シリコンバレー銀行が破綻してから 2 年近くが経過するが、「アーリー」の企業への融資はまだ回復しておらず、貸し手はリスクの低い企業への融資を選好しており、その結果、ベンチャー企業向け融資は「ベンチャーグロース」に集中したものと、Venture Monitor はみている。

図表 12 ステージ別 VC 出資先企業のデット調達比率の推移 (2020 年~2024 年)



(出所 : Venture Monitor Q4 2024、VEC 作成)

以 上